

海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 2 7 年 9 月

海田町

目 次

第 1 章 基本的な考え方

- 1 策定の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 策定にあたっての基本的視点・・・・・・・・・・ 4
- 3 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 4 総合戦略の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

第 2 章 今後の施策の方向

- 1 政策分野と基本目標の設定・・・・・・・・・・ 7
- 2 総合戦略の体系・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 3 政策パッケージ
 - 政策分野 1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる・・・・・・・・ 11
 - 政策分野 2 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る・・ 16
 - 政策分野 3 海田町への新しいひとの流れをつくる・・・・・・・・ 24
 - 政策分野 4 働きがいのある就労の場を確保する・・・・・・・・ 27

第1章 基本的な考え方

1 策定の背景

■ 全国的な地方創生に向けた動き

平成 26 年 11 月に国は、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、特に地方の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的とする「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、同年 12 月には、人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、今後 5 年間の政府の施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。

国の総合戦略においては、地方の人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させるという負のスパイラルに陥るリスクを指摘し、①東京一極集中の是正、②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、③地域の特性に即した地域課題の解決 の 3 つの視点から人口減少克服・地方創生に取り組むことや、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を呼び戻すことに一体的に取り組むものとされています。

そのような中で、まち・ひと・しごと創生法において、市町村は地域の実情に応じた、まち・ひと・しごと創生に関する施策の基本的な計画を定めるよう努めなければならないこととされました。

■ 海田町の現状

海田町では、平成 22 年 12 月に策定した第 4 次海田町総合計画（以下「総合計画」という。）において、「ひと輝く 四季彩のまち かいた～海田らしさがきらりと光る、支え合う豊かさづくり～」を都市像に掲げ、目標年次（平成 32（2020）年）の人口を現状維持の 29,000 人に設定しています。

- 子どもがいきいきと育つまちをつくろう
- だれもが尊重され活躍するまちをつくろう
- 健康で人にやさしい安心のまちをつくろう
- 環境にやさしく快適なまちをつくろう
- 都市基盤を整え生かすまちをつくろう
- 産業と働く人が元気なまちをつくろう
- 参加と連携でまちづくりの推進力をつくろう

という7つの施策の基軸のもと、特に「子育てしやすい、安心安全なまちづくり」に重点を置きながら、「住み続けたい、住んでよかったまち」「行ってみたい、住んでみたいまち」の実現に向け、各種施策を展開してきました。

海田町は、隣接する広島市のベッドタウンとしての性格と、主に自動車関連産業の就業の場としての性格を併せ持ちながら発展したまちです。人口は、平成2年をピークに減少が続いていましたが、近年はマンション建設や宅地開発に伴い人口増加に転じ、目標人口の29,000人（住民基本台帳人口）を維持しています。今後、更なる宅地開発等も見込まれることから、当面はこの傾向が続くものと考えています。

また、総人口に占める年少人口及び生産年齢人口の割合が県内で上位にあることや、合計特殊出生率が全国や広島県、広島市と比較して高いことなどから、海田町は若い世代の多いまちといえます。

しかし一方で、老年人口の割合は増加を続けており、全国的な少子高齢化の波は確実に本町にも押し寄せてきています。そのため近い将来には、人口は緩やかな減少局面に入ると予測されています。人口が減少すると、買い物などの日常生活に不便を感じる住民の増加や、地域経済が衰退することなどが危惧されます。

そこで、人口減少が顕著となる前の段階において海田町の現状と将来をしっかりと見据え、“地方創生”の実現に向けた好循環を効果的に生み出すため、海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）を策定し、必要な施策を講ずることとします。

2 策定にあたっての基本的視点

■ 総合戦略の位置づけ

総合戦略は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と、現在広島県が策定中の「広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）」を勘案し、海田町の実情を踏まえた上で、まち・ひと・しごと創生に関する分野における目標や基本的方向、具体的な施策などをまとめるものです。

策定にあたっては、別に作成する海田町人口ビジョンにおいて提示した海田町における人口の現状と将来の展望を十分に踏まえるものとします。

また、総合計画で示す施策のうち、まち・ひと・しごと創生に係る取組を集中的に取捨選択する形で整合を図っていきます。

■ 基礎自治体としての取組と広域連携での取組により相乗効果を生み出す

住民に最も身近な基礎自治体として、保健・福祉の増進に取り組むことや安心して安全に暮らすことができる地域基盤を整備することは重要な責務です。海田町では、これまで総合計画に基づき子育てしやすいまちづくり、安全安心なまちづくりなどに重点的に取り組んできました。これらは、まち・ひと・しごと創生に資するものであることから、総合戦略においても引き続き重点的に施策を展開していくものとします。

一方で、海田町は広島市に隣接し、中心部へのアクセス利便性も高いという地域特性から、住民の通勤や通学・買い物などの生活圏は町域を越えて広がっています。これを踏まえ、雇用や産業振興、他地域から人を呼び込むための取組などについては、広島市や隣接する町と連携し、よりよい地域をつくっていきます。

■ 海田町を広くアピールする

まち・ひと・しごとの創生にあたっては、海田町の魅力や利便性、取組などを広く町内外の方々に知っていただくことが必要不可欠です。

さまざまな分野において、海田町の魅力や利便性、取組などを町内外にアピールすることで、それらの認知度を高めるとともに、海田町の知名度の向上を図ります。

3 計画期間

平成 27（2015）年度から平成 31（2019）年度までの 5 年間とします。

4 総合戦略の推進体制

■ 政策 5 原則を踏まえた施策の推進

国の総合戦略に盛り込まれた政策 5 原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）の趣旨を踏まえて、効果的に施策を推進します。

■ 広域連携の推進

広島市が中心となって取り組む連携中枢都市圏制度や、安芸地区の近隣市町（広島市安芸区及び他の安芸郡 3 町）との広域連携を積極的に推進するとともに、広島県の総合戦略との十分な連携を継続的にとりながら、まち・ひと・しごと創生に向けた取組を推進します。

■ P D C A サイクルの確立

総合戦略の実効性を高めるとともに、施策の効果を客観的に検証できるようにするため、政策分野ごとに数値目標を、施策ごとに重要業績評価指標（K P I，※ 1）を設定します。

総合戦略の効果検証に際しては、毎年度、数値目標及び K P I の達成度を点検評価するなど、総合戦略に記載された施策が適切に実行されるよう P D C A サイクルを確立し、進行管理を行うこととします。

評価結果は毎年度、住民代表や外部有識者等で構成する「海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」に報告することとし、そこで寄せられたご意見を反映させながら、必要に応じて施策の追加・変更等を行うなど、総合戦略の見直しを図ります。

※ 1：K P I／Key Performance Indicators の略。各事業の目標達成度合いを測る指標となるもの。

【参考】

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方と政策5原則

1 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方

(1) 人口減少と地域経済縮小の克服

○地方は、人口減少を契機に、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高い。

○人口減少克服・地方創生のためには、3つの基本的視点から取り組むことが重要。

①「東京一極集中」の是正

②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現

③地域の特性に即した地域課題の解決

(2) まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

○「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。

①しごとの創生

・若い世代が安心して働ける「相応の賃金、安定した雇用形態、やりがいのあるしごと」という「雇用の質」を重視した取組が重要。

②ひとの創生

・地方への新しい人の流れをつくるため、若者の地方での就労を促すと同時に、地方への移住・定着を促進する。

・安心して結婚・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援を実現する。

③まちの創生

・地方で安心して暮らせるよう、中山間地域等、地方都市、大都市圏等の各地域の特性に即して課題を解決する。

2 「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

○人口減少克服・地方創生を実現するため、5つの政策原則に基づき施策を展開する。

①自立性

構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながる。

②将来性

地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。

③地域性

各地域の実態に合った施策を支援。国は支援の受け手側の視点に立って支援。

④直接性

最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。

⑤結果重視

PDCA メカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

第2章 今後の施策の方向

1 政策分野と基本目標の設定

国の総合戦略が定める4つの政策分野、

- 地方における安定した雇用を創出する
- 地方への新しいひとの流れをつくる
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

を勘案するとともに、第1章に掲げた策定にあたっての基本的視点を踏まえ、次のとおり政策分野を設定し、政策分野ごとに基本目標を定めます。

政策分野1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・妊娠・出産・育児のしやすいまちづくりに向けた環境整備等の取組を推進することにより、出生数の増加をめざします。

海田町の将来人口に関するアンケート調査(以下「アンケート調査」という。)によると、20～39歳の住民の予定子ども数は1.98人、理想子ども数は2.21人で、どちらも現在の合計特殊出生率1.65と比べると差が生じています。結婚・子育ての希望が実現すると、合計特殊出生率が上昇することも見込まれ、少子化の流れに歯止めをかけることができます。

これまで海田町では、保育や医療に関するサービスの他、不妊・不育治療費の助成や母子に対する妊娠期からの支援および産後早期ケア、事業所の協賛による子育て支援パスポート事業など様々な取組を通して、子育てしやすいまちづくりに重点的に取り組んできました。また、町内小中学校の全教室にエアコンを設置するなど、児童生徒が学習に集中できる環境を整備しています。

計画期間においては、従来の子育てしやすいまちづくりに向けた施策を継続するとともに、町立保育所の再整備に伴う保育サービス及び保育体制の充実や、小中学校における指導力の向上などに取り組めます。また、住民の結婚の希望をかなえるため、関係機関と連携によるセミナー等の開催を検討します。

政策分野2 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

住民に最も身近な基礎自治体として、住民の健康増進や心の豊かさの実感に向けた取組を推進することにより、健康寿命の増加をめざすとともに、安全・安心な生活の基礎となる防災、防犯への取組を充実強化します。

これまで海田町では、予防接種費用助成や、がん検診無料クーポン配布による検診受診体制の整備などにより、住民の健康づくりを推進してきました。また、夜間防犯パトロールや、事業所との協定に基づく災害発生時の避難場所の確保、食料品等の備蓄などにより、安全、安心なまちづくりに重点的に取り組んできました。

計画期間においては、従来の健康づくりや安全、安心なまちづくりに向けた施策を継続するとともに、防犯カメラの設置による町内の犯罪抑制や、消防団活動の充実、強化などに取り組めます。また、いつまでも海田町で安心して暮らすことができるよう、地域ケア体制の整備や、心の豊かさの実感に繋がる居場所づくり、活動場所づくりに取り組めます。

これらの取組を他の分野と合わせて複合的に推進することで、「住み続けたい、住んでよかったまち」「行ってみたい、住んでみたいまち」の実現をめざします。

政策分野3 海田町への新しいひとの流れをつくる

海田町への来訪や移住、定住に向けた情報発信や基盤整備、海田町の知名度向上に繋がる取組を推進することにより、人口の社会増の維持をめざします。

アンケート調査によると、海田町の住みよい点や魅力、“強み”として「交通の便がよい」「買い物などが便利」などがあげられ、全体の約9割が海田町の住みやすさについてプラス評価をしています。

これまで海田町では、まちの魅力の発信のため、西国街道や瀬野川といった地域資源などを、広報誌やFacebook等の媒体を用いてPRしてきました。

計画期間においては、地域資源のみならず、住みやすさの視点から捉えた海田町の魅力を、近隣市町や首都圏を含めた町内外へ向けてアピールしていきます。また平成32年の東京オリンピック開催に合わせ、織田幹雄さんの出身の町としてのアピールに重点的に取り組めます。

政策分野4 働きがいのある就労の場を確保する

海田町に住みながら通勤できる範囲での就労の場の確保に向けた環境整備等の取組を推進するため、起業件数の増加をめざします。

アンケート調査によると、20～39歳の住民の、働く場としての海田町に対するプラス評価は約5割、町外へ通勤する場としての海田町に対するプラス評価は約7割となっています。

これまで海田町では、広島安芸商工会と連携した町内商工業の活性化、経営の安定化を図ることにより、町内の雇用の場を確保してきました。

計画期間においては、関係機関との連携により創業支援などに取り組みます。また、住民の就労の場は町内外に広がっていることを考慮し、町内での取組のみならず、通勤アクセス利便性の向上や近隣市町と連携した就労の場の確保、商工業の振興に向けた取組を推進していきます。

2 総合戦略の体系

政策分野	施策の基本的方向	施策
1 結 婚 ・ 出 産 ・ 子育て の希望をかなえる	(1)出産・子育てしやすい環境の整備	①妊娠・出産に対する支援の充実
		②家庭における子育ての支援
		③保育サービス等の充実
	(2)子どもが健やかに育つ環境の整備	①子どもの居場所づくり
		②子どもの遊び場づくり
	(3)学校教育の充実	①自立して社会で生きていく基礎となる「生きる力」の育成
		②児童生徒の安全・安心の確保と質の高い教育環境の整備
	(4)結婚に対する意識の醸成	①結婚に関する情報提供

政策分野	施策の基本的方向	施策
2 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る	(1)災害に強いまちづくりの推進	①災害に強い都市構造の形成
		②防災体制の充実・強化
		③防災情報伝達体制の整備・充実
	(2)暮らしの安全・安心の確保	①安全な交通環境と人にやさしい空間の整備・充実
		②防犯対策の推進
	(3)健康づくりの推進	①健康づくりのための保健サービスの充実
	(4)豊かな高齢社会の形成	①地域における支援体制の充実と地域包括ケアシステムの構築
		②介護予防の推進と介護サービス基盤の整備
		③高齢者の安心な生活の支援
	(5)住宅・住環境の整備	①下水道の整備
②町営住宅の計画的な整備		
③山畝地区の基盤整備		
(6)利便性・快適性を備えた公共施設等の整備	①社会教育施設の整備・充実と有効活用	
	②交通空白地域の解消と交通アクセス利便性の向上	
3 海田町への新しいひとの流れをつくる	(1)織田幹雄さんにちなんだまちづくり	①織田幹雄さんの偉業の継承とスポーツのまち・海田づくり
	(2)自然と文化が息づく海田町の魅力の発信	①地域資源の活用
	(3)移住・定住の促進	①移住に向けたPRの強化
		②空き家の流通促進
(4)拠点づくりの推進	①海田市駅南口のにぎわいづくり	
4 働きがいのある就労の場を確保する	(1)雇用の場の確保	①町内における雇用安定の促進と労働環境の整備
		②連携中枢都市（広島市）や近隣各町と連携した雇用の場の確保に向けた取組
	(2)交通網の整備	①道路網の骨格形成
	(3)商工業の振興	①活力とにぎわいのある商工業が根づくまちの形成
②連携中枢都市（広島市）や近隣各町と連携した商工業振興に向けた取組		

3 政策パッケージ

政策分野1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

■ 基本目標

数値目標	基準値（26年度）	目標値（31年度）
出生数	316人	335人

■ 施策の基本的方向

(1) 出産・子育てしやすい環境の整備

安心して子どもを産み育てていけるよう、関係機関と連携しながら出産育児の支援や妊婦・乳幼児の健康支援・充実に取り組むとともに、保育サービスなど子育てと就労の調和に向けた取り組み及び地域における子育て環境を充実させ、親と子どもの健康づくりや子育て家庭の支援などに取り組めます。

施策	①妊娠・出産に対する支援の充実		
重要業績 評価指標 （KPI）	指標名	基準値（26年度）	目標値（31年度）
	パパママスクール年間延べ参加者数	158人	170人
主な 取組内容	○不妊治療・不育治療・不妊検査に係る助成 ○妊婦やその家族の健診機会、学習機会の充実 ○周産期・新生児サポートの実施（産後早期ケア支援） ○乳幼児家庭訪問や育児教室による相談・支援の充実		
関連する 総合計画上の 具体的施策	◇母子保健の充実 →第3章「第1節 健康づくりの推進」		

施策	②家庭における子育ての支援		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値 (26 年度)	目標値 (31 年度)
	地域子育て支援センター年間延べ利用者数 (3 センター)	29,393 人	29,500 人
主な 取組内容	○地域子育て支援センターの充実 ○子育て支援コーディネーターなどによる子育てに関する 情報提供・相談・助言 ○子育てヘルパーの派遣による育児・家事等の援助 ○子育て支援パスポート事業の充実 ○町内の保育所や幼稚園の園庭開放, イベント等を通じた 仲間づくりや地域交流等の促進 ○子育て応援まつりを通じた親子のふれあいの促進 ○乳幼児等医療費助成の入院医療費の助成対象を, 小学生 から中学生に拡大		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇子育てに関する情報提供・相談体制の充実 ◇子育ての仲間づくり・地域交流等の促進 ◇各種手当の給付・医療費等の助成 →第1章「第1節 子育てしやすい環境の整備」
-------------------------	---

施策	③保育サービス等の充実		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値 (26 年度)	目標値 (31 年度)
	待機児童数	0 人	0 人
主な 取組内容	○多様化する保育ニーズに対応した各種保育サービス及び 保育体制の充実 ○町立保育所の再整備 ○広域連携による病児・病後児保育の実施 ○緊急時等でのショートステイ・トワイライトステイの実 施 ○ファミリー・サポートセンター事業の実施 ○多子世帯への保育料の減免		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇保育所・幼稚園における保育サービスの充実 ◇在宅児を含めた預かりサービスの充実 ◇地域住民の協力による子育て支援 ◇保育料・教育費の負担軽減 →第1章「第1節 子育てしやすい環境の整備」
-------------------------	--

(2) 子どもが健やかに育つ環境の整備

子どもが自主性・自立性をはぐくみながら、いきいきと遊び、活動し、健やかに育っていけるよう、子どもの居場所や遊び場づくりなどに取り組みます。

施策	①子どもの居場所づくり		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	児童館年間延べ利用者数(2館)	13,805人	14,000人
	放課後子ども教室年間延べ利用者数	1,922人	2,220人
主な 取組内容	○放課後児童クラブの充実 ○放課後子ども教室の充実 ○ジュニアサマースクール等による水辺や緑などの自然・歴史文化にふれあう場や機会の確保及び充実		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇放課後児童クラブの充実 ◇児童館や公民館等を生かした居場所づくり ◇自然や歴史文化とふれあう場の確保・充実 →第1章「第2節 子どもが健やかに育つ環境の整備」
-------------------------	---

施策	②子どもの遊び場づくり		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	海田総合公園年間延べ利用者数	230,000人	240,000人
主な 取組内容	○子どもが遊びたくなるような公園・広場の充実 ○海田総合公園の整備・充実		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇子どもが遊びやすい公園・広場づくり →第1章「第2節 子どもが健やかに育つ環境の整備」 ◇海田総合公園の整備・充実 ◇身近な公園・広場の整備 →第4章第3節「第2項 公園緑地の整備」
----------------------------------	---

(3) 学校教育の充実

知・徳・体の調和がとれた児童生徒を育てていくため、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をはぐくむことにより、自立して社会を生きていく基礎となる「生きる力」の育成に取り組めます。また、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、家庭や地域の協力を得ながら、質の高い学習環境の整備に努めます。

施策	①自立して社会で生きていく基礎となる「生きる力」の育成		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	全国学力・学習状況調査「活用に関する問題」における国の平均正答率との差	小学校/ 国語+9.4pt 算数+4.5pt 中学校/ 国語+3pt 数学+6.3pt	全教科+7pt
	中学校卒業時英検 3級程度以上の取得率	21%	70%
主な 取組内容	○教育指導員等の配置による教科学習の支援・充実 ○授業力向上を目指した教職員の人材育成の推進 ○タブレット等 I C T 機器を効果的に活用した授業づくりの推進 ○グローバル人材育成を目的とした小中学校英語教育の推進 ○長期宿泊体験活動や地域交流活動を通じた豊かな心の育成 ○食育の推進や体力の向上に関する指導の充実		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇確かな学力の育成 ◇豊かな心の育成 ◇健やかな体の育成 →第1章「第3節 学校教育の充実」
-------------------------	---

施策	②児童生徒の安全・安心の確保と質の高い教育環境の整備		
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	学校施設耐震化率	87.5%	100.0%
主な 取組内容	○地域住民による登下校時の見守り活動の推進 ○防犯カメラによる学校施設への不審者の侵入防止 ○中長期整備計画に基づく計画的かつ効率的な学校施設の整備 ○学校施設のつり天井等非構造部材の耐震化 ○必要に応じた学校施設の修繕・改修		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇児童生徒の安全・安心の確保 ◇質の高い教育環境の整備 →第1章「第3節 学校教育の充実」
-------------------------	---

(4) 結婚に対する意識の醸成

住民の結婚の希望をかなえるため、関係機関と連携し、結婚に関する情報提供などに取り組みます。

施策	①結婚に関する情報提供		
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	セミナー等の年間開催回数	0回	1回
主な 取組内容	○関係機関と連携した出会いや結婚に関する情報提供 ○関係機関と連携したセミナー等の開催の検討		

関連する 総合計画上の 具体的施策	—
-------------------------	---

政策分野2 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

■ 基本目標

数値目標	基準値（25 年度）	目標値（31 年度）
健康寿命の延伸	平均寿命 男性 80.18 歳 女性 88.66 歳 健康寿命 男性 78.74 歳 女性 84.60 歳	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加

※健康寿命の算定プログラム（平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）による健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班）を用いて町で独自に算出。

■ 施策の基本的方向

(1) 災害に強いまちづくりの推進

災害に強いまちづくりを進めるため、安全な避難場所や避難路の確保、ライフラインの防災安全化、建築物等の耐震化、消防の充実・強化などを図るとともに、住民等の協力と参加のもとに、地域ぐるみで防災体制づくりに取り組めます。

施策	①災害に強い都市構造の形成		
重要業績 評価指標 （K P I）	指標名	基準値（26 年度）	目標値（31 年度）
	民間緊急避難施設数	2 施設	8 施設
	下水道による都市浸水対策達成率	3.6%	3.9%
主な 取組内容	○住宅耐震診断や木造住宅耐震改修に係る助成 ○緊急輸送路沿道建築物の耐震診断に係る助成 ○要緊急安全確認大規模建築物の耐震改修に係る助成 ○避難場所や避難路の整備・充実 ○雨水整備による市街地の浸水防除		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇建築物等の耐震改修 ◇避難場所・避難路・ライフラインの整備・充実 →第5章「第2節 災害に強いまちづくりの推進」 ◇公共下水道の整備（雨水・浸水対策） →第5章「第5節 下水道の整備」
-------------------------	---

施策	②防災体制の充実・強化		
重要業績 評価指標 （K P I）	指標名	基準値（26年度）	目標値（31年度）
	消防団員数	99人	125人
主な 取組内容	○関係機関と連携した避難訓練の実施による地域住民の防災力の強化 ○災害時における事業所からの物資提供に係る支援協定の締結 ○地域防災計画に定める資機材や備蓄品の充実及び備蓄場所の確保 ○避難所等の周知のための看板整備 ○消防団の充実・強化 ○消防団の活動拠点の整備		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇住民の防災意識の高揚 ◇防災訓練の実施 ◇防災備蓄物資の備蓄体制の強化 ◇海田町地域防災計画の定期的な見直し ◇非常備消防の充実 →第5章「第2節 災害に強いまちづくりの推進」
-------------------------	--

施策	③防災情報伝達体制の整備・充実		
重要業績 評価指標 （K P I）	指標名	基準値（26年度）	目標値（31年度）
	移動系防災行政無線デジタル化率	0%	100%
主な 取組内容	○災害時において活用しやすい防災ラジオ及び同報系防災行政無線等の整備 ○移動系防災行政無線設備の更新		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇移動系防災行政無線設備の更新 ◇同報系防災行政無線設備の拡充 ◇同報系防災行政無線による災害危険箇所等への対策 →第5章「第2節 災害に強いまちづくりの推進」
-------------------------	---

(2) 暮らしの安全・安心の確保

日常生活の安全・安心を確保するため、交通安全対策やバリアフリーなどの福祉のまちづくりを進めるとともに、犯罪・事故の起こりにくい環境づくりに取り組めます。

施策	①安全な交通環境と人にやさしい空間の整備・充実		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(25年度)	目標値(31年度)
	年間交通事故件数	210件	100件
主な 取組内容	○各小学校への横断旗や笛等の配布による交通安全意識の啓発 ○グリーンラインの設置などによる歩行者空間の確保 ○交通事故の危険性の高い箇所への交通安全施設整備による安全な交通環境の確保 ○カーブミラーの新規設置及び修繕 ○公共施設へのエレベーター設置、トイレのバリアフリー化		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇交通安全教育の推進 ◇交通安全運動の推進 ◇歩行者空間の整備 ◇交差点等の改良 ◇交通安全施設の整備 →第3章第5節「第1項 交通安全対策の推進」 ◇歩行者空間のバリアフリー化 ◇公共施設のバリアフリー化 →第3章第5節「第2項 福祉のまちづくり（バリアフリー）の推進」
-------------------------	--

施策	②防犯対策の推進		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値 (25 年度)	目標値 (31 年度)
	年間犯罪発生件数	272 件	130 件
主な 取組内容	○夜間の犯罪発生抑止のため、防犯パトロールを実施 ○防犯カメラの設置による町内の犯罪の抑制 ○防犯灯の新規設置及び修繕 ○自治会による防犯灯の設置補助		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇防犯意識の啓発 ◇防犯パトロールの実施 ◇防犯灯などの整備・管理 ◇自治会の防犯灯設置に対する補助 →第3章第5節「第3項 防犯対策の推進」
-------------------------	---

(3) 健康づくりの推進

生涯にわたる住民の健康の保持・増進と疾病への対応を図るため、医療機関等と連携し、医療提供体制の確保・充実に努めるとともに、健康づくりや疾病予防に関する情報提供や啓発、食育の推進、ライフステージやさまざまな状況に応じた保健サービスの提供に取り組めます。

施策	①健康づくりのための保健サービスの充実		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値 (26 年度)	目標値 (31 年度)
	健康づくりサポーター養成講座年間延べ参加者数	80 人	100 人
主な 取組内容	○健康・食育フェアを通じた健康づくりの啓発 ○ウォーキング大会の実施など運動を通じた健康づくり ○がん検診の推進など地域で活動できる健康づくりサポーターの養成 ○疾病の早期発見に向けた健康診査を受けやすい環境の整備 ○おたふくかぜワクチンなど各種予防接種助成等を通じた感染症予防対策の充実 ○心の健康づくり及び相談体制の充実		

	○ヘルスマイト（食生活改善推進員）と連携した食育活動の推進 ○近隣市町との連携による救急医療体制の確保
--	--

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇健康づくり応援イベントの開催 ◇生活習慣病等予防対策の充実 ◇感染症予防対策の充実 ◇心の健康づくりの推進 ◇歯科保健の充実 ◇健康づくりを担う人材育成 ◇食育の推進 ◇救急医療体制の充実 →第3章「第1節 健康づくりの推進」
-------------------------	--

(4) 豊かな高齢社会の形成

高齢者が安心して豊かな暮らしを送っていけるよう、生きがいづくりや社会参加の促進、日常生活の支援、地域ケア体制の整備などを進めるとともに、介護予防などに取り組みます。

施策	①地域における支援体制の充実と地域包括ケアシステムの構築		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	地域ケア会議年間開催回数	2回	12回
主な 取組内容	○地域包括支援センターにおける相談・支援の充実 ○関係機関、地域団体、民生委員など連携した地域における支援体制の整備		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇地域包括支援センターを中心とした体制づくり ◇相談・支援の充実 ◇高齢社会を支える地域福祉の推進 →第3章「第2節 豊かな高齢社会の形成」
-------------------------	---

施策	②介護予防の推進と介護サービス基盤の整備		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	地域密着型サービス事業所数	3箇所	4箇所
主な 取組内容	○介護予防事業の推進 ○小規模特別養護老人ホームの整備		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇一次予防事業の対象者への介護予防対策 ◇二次予防事業の対象者への介護予防対策 ◇地域密着型サービスの充実 →第3章「第2節 豊かな高齢社会の形成」		
-------------------------	---	--	--

施策	③高齢者の安心な生活の支援		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	地域コミュニティの拠点数	0箇所	3箇所
主な 取組内容	○高齢者の居場所づくりを推進 ○高齢者が健康でいきいきとした社会生活が送れるよう各種在宅サービスを提供		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇暮らしの安全・安心の確保 ◇日常生活の支援サービスの充実 →第3章「第2節 豊かな高齢社会の形成」		
-------------------------	--	--	--

(5) 住宅・住環境の整備

快適で暮らしやすい生活環境を維持・増進させるため、根幹的施設である下水道の整備や町営住宅の計画的な整備などにより住宅・住環境の向上を図ります。

施策	①下水道の整備		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	下水道処理人口普及率	97.8%	99.0%

主な 取組内容	○計画的かつ効率的な污水整備
------------	----------------

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇公共下水道の整備（污水・未普及解消） →第5章「第5節 下水道の整備」
-------------------------	---

施策	②町営住宅の計画的な整備		
重要業績 評価指標 （K P I）	指標名	基準値（26年度）	目標値（31年度）
	大規模改修整備戸数	0戸	78戸
主な 取組内容	○町営住宅長寿命化計画に基づく大規模改修 ○老朽化やバリアフリー化に対応した町営住宅の改修		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇町営住宅長寿命化計画の策定 ◇町営住宅の改修 →第4章第3節「第1項 住宅・住環境の整備」
-------------------------	--

施策	③山畝地区の基盤整備		
重要業績 評価指標 （K P I）	指標名	基準値（26年度）	目標値（31年度）
	山畝地区基盤整備計画の策定状況	0%	100%
主な 取組内容	○山畝地区基盤整備計画の策定		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇市街地における土地の有効活用と住宅の整備促進 →第4章第3節「第1項 住宅・住環境の整備」
-------------------------	---

(6) 利便性・快適性を備えた公共施設等の整備

老朽化した既存施設のあり方について検討し、地域活動及び生涯学習、まちづくりの拠点となる施設の整備に取り組みます。

また、公共施設等への住民のアクセスを確保するため、町内循環コミュニティバスの継続運行に取り組みます。

施策	①社会教育施設の整備・充実と有効活用		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	社会教育施設年間延べ利用者数	188,059人	190,000人
主な 取組内容	○海田公民館の建替整備 ○現在の町内社会教育施設に必要な機能の見直し		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇施設老朽化への対応 ◇住民の学習ニーズに対応した施設の整備 →第2章「第1節 生涯学習の推進」
-------------------------	--

施策	②交通空白地域の解消と交通アクセス利便性の向上		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	循環コミュニティバス年間延べ利用者数	40,936人	44,000人
主な 取組内容	○運行状況や住民ニーズなどを踏まえた、町内循環コミュニティバス運行の継続・充実 ○民間バス会社との連携による地域の公共交通の確保		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇交通不便地区の解消 ◇町内循環コミュニティバスの継続運行とそのルート変更 →第5章「第3節 交通網の整備」
-------------------------	--

政策分野3 海田町への新しいひとの流れをつくる

■ 基本目標

数値目標	基準値（26年度）	目標値（31年度）
人口の社会増減	+199人	毎年度+値を維持

■ 施策の基本的方向

(1) 織田幹雄さんにちなんだまちづくり

平成32年の東京オリンピック開催を契機と捉え、海田町出身で日本人初のオリンピック金メダリスト織田幹雄さんの偉業を広く後世に伝えるため、情報発信に努めるとともに、後進の育成にご尽力された織田幹雄さんの意志を継ぎ、各種スポーツ大会を実施します。

施策	①織田幹雄さんの偉業の継承とスポーツのまち・海田づくり		
重要業績 評価指標 （KPI）	指標名	基準値（26年度）	目標値（31年度）
	スポーツ大会年間延べ参加者数	1,889人	2,000人
主な 取組内容	○織田幹雄記念館の整備による偉業の継承 ○多様な媒体を活用した織田幹雄さん出身の町のPR ○各種スポーツ大会等の開催		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇スポーツに関する情報提供と普及 →第2章「第3節 スポーツのまち・海田づくり」 ◇観光資源の発掘と魅力づくり →第4章「第4節 自然と文化が息づくうるおいのある環境づくり」
-------------------------	--

(2) 自然と文化が息づく海田町の魅力の発信

都市部にありながら、自然環境や歴史的資源が残る海田町の魅力を高めるため、地域資源の活用に取り組むとともに、観光資源の発掘と魅力づくりや観光

情報等の提供と受発信に努めます。

施策	①地域資源の活用		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	Facebookによる年間 情報発信件数	69件	100件
主な 取組内容	○地域資源である瀬野川や西国街道などの観光資源としての活用 ○地域資源の積極的なPRと海田町のイメージの向上		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇文化財に対する啓発と保存・活用、発掘 ◇観光資源の発掘と魅力づくり ◇観光情報等の提供と受発信 →第4章「第4節 自然と文化が息づくうるおいのある環境づくり」
-------------------------	---

(3) 移住・定住の促進

海田町への移住・定住を促進し、将来的な人口減少に歯止めをかけるため、海田町での快適で質の高い暮らしを広くPRするとともに、住宅の確保に向けた効果的な手法を検討します。

施策	①移住に向けたPRの強化		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	首都圏や関西圏での 年間PR活動件数	0件	2件
主な 取組内容	○広島市や近隣市町と連携した首都圏や関西圏への海田町の魅力のPR ○県内における海田町の魅力のPR ○訴求テーマ、ターゲットの設定と効果的なPR手法の検討		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇定住情報等の受発信 ◇交流・定住施策の調査・研究 →第7章「第2節 交流と定住・居住の促進」
-------------------------	---

施策	②空き家の流通促進		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	空き家の利用転換率	0%	5%
主な 取組内容	○空き家の実態調査 ○空き家の市場流通化に向けた手法の検討		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇市街地における土地の有効活用と住宅の整備促進 →第4章第3節「第1項 住宅・住環境の整備」
-------------------------	---

(4) 拠点づくりの推進

自然と都市空間が調和した住みよく元気な都市構造を形成していくため、地域拠点であり町の玄関口でもある海田市駅周辺のにぎわいづくりに取り組みます。

施策	①海田市駅南口のにぎわいづくり		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	土地区画整理区域内の居住人口	0人	200人
主な 取組内容	○海田市駅南口土地区画整理事業の推進 ○集客施設や都市型住宅の立地誘導 ○海田市駅南口地区地区計画の推進 ○広島市東部地区連続立体交差事業の推進		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇拠点や都市軸の形成 ◇海田市駅南口土地区画整理事業の推進 ◇補助事業の検討 ◇地区計画等の活用の検討 ◇広島市東部地区連続立体交差事業の推進 →第5章「第1節 拠点づくりと計画的な土地利用の推進」
-------------------------	--

政策分野4 働きがいのある就労の場を確保する

■ 基本目標

数値目標	基準値（26年度）	目標値（31年度）
創業支援事業計画に基づく年間起業家数	0人	6人

■ 施策の基本的方向

(1) 雇用の場の確保

安定して就労できる環境を維持・向上させるため、関係機関と連携しながら、企業等における雇用の場の確保及び就労の安定化を促進するとともに、担い手の育成や起業の促進、就労情報の発信などに取り組みます。

施策	①町内における雇用安定の促進と労働環境の整備		
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	創業支援事業計画に基づく創業支援相談年間人数	0人	30人
主な 取組内容	○関係機関との連携による雇用に関する制度の周知や求人情報の提供 ○創業支援事業計画に基づく広島市や広島安芸商工会などの関係機関と連携した創業支援の実施 ○中国労働金庫に資金を預託、低利で貸し付けを行うことによる労働者の生活環境の充実 ○育児支援など企業における働きやすい環境づくりの啓発		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇就労に関する情報提供の充実 ◇新たな雇用の場の創出 ◇勤労者への金融対策の推進 →第6章「第1節 雇用の場の確保」
-------------------------	---

施策	②連携中枢都市（広島市）や近隣各町と連携した雇用の場の確保に向けた取組		
重要業績 評価指標 （K P I）	指標名	基準値（26 年度）	目標値（31 年度）
	安芸区役所の就労支援窓口（ハローワーク）の年間利用件数	0 件	30 件
主な 取組内容	○安芸区役所の就労支援窓口（ハローワーク）の広域利用 ○広島市中小企業支援センターによる創業・ベンチャー支援 ○広島市と連携した住民の雇用の場の確保のための取組検討		
関連する 総合計画上の 具体的施策	◇新たな雇用の場の創出 →第6章「第1節 雇用の場の確保」		

(2) 交通網の整備

主要幹線道路等と合わせて都市内の道路網の骨格を形成し、便利で快適な暮らしと活力ある都市活動を支えるとともに、町内外への通勤・通学者のアクセス道路を確保するため、幹線道路や補助幹線道路等の整備を進めます。

施策	①道路網の骨格形成		
重要業績 評価指標 （K P I）	指標名	基準値（26 年度）	目標値（31 年度）
	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく計画的な橋りょうの修繕数	累計 3 橋 (3.7%)	累計 7 橋 (8.6%)
主な 取組内容	○国道 2 号等の広域幹線道路との円滑な接続 ○都市計画道路の整備による町内道路網の骨格形成 ○地域に密着した重要な生活道路の整備 ○橋りょう長寿命化修繕計画に基づく計画的な橋りょうの修繕		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇幹線道路等整備事業の推進 ◇町道の整備 ◇橋りょうの長寿命化 →第5章「第3節 交通網の整備」
-------------------------	---

(3) 商工業の振興

海田町の基幹産業である工業の振興及び住民の消費生活の利便性や商業の活性化のため、関係機関等と連携しながら、中小企業や商店の経営の安定化・高度化の支援などに取り組みます。

施策	①活力とにぎわいのある商工業が根づくまちの形成		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	中小企業融資制度年間斡旋件数	42件	50件
主な 取組内容	○広島安芸商工会の中小企業への経営指導体制の強化 ○中小企業の育成や経営の合理化のため金融機関に融資用資金を預託 ○プレミアム付き商品券の発行による地域経済及び商業等の活性化		

関連する 総合計画上の 具体的施策	◇経営の安定化 ◇中小企業の振興 →第6章「第2節 工業の振興」 ◇商業の活性化 ◇商店の経営の安定化 ◇中小商業者の資金の円滑化 →第6章「第3節 商業の振興」
-------------------------	---

施策	②連携中枢都市（広島市）や近隣各町と連携した商工業振興に向けた取組		
重要業績 評価指標 (K P I)	指標名	基準値(26年度)	目標値(31年度)
	各種支援を受ける年間企業件数	0件	10件

主な 取組内容	○町内の中小企業が、広島市が行う下記の取組支援を受けられる体制の整備 ・自動車産業経営者会への参加 ・デザインによる中小企業のブランド化支援 ・技術指導・技術研修開催支援 ・広島市中小企業支援センターによる経営改善プログラムの実施
関連する 総合計画上の 具体的施策	◇経営の安定化 →第6章「第2節 工業の振興」 ◇商店の経営の安定化 →第6章「第3節 商業の振興」